

令和4年度 心くい里山里海湖活動表彰 表彰者一覧

| 表彰者名 | 主な活動市町 | 活動内容・表彰理由 |
|--|-------------|---|
| <p>一般社団法人 竹田文化共栄会 (代表理事 大川 貞幸)</p> | <p>坂井市</p> | <p>里山整備が主な活動だったが、近年は行政の指定管理者として、宿泊施設やキャンプ場の経営など、多岐にわたる活動により地域住民を雇用し、里山地域の活性化に寄与している。</p> <p>全国から大学生を受け入れ、地域の課題解決を図る活動や令和4年度からは、子供たちが森の仕事を手伝うと地域のお店で実際に使用することが出来る地域通貨がもらえる、森のお仕事体験事業を実施するなど、里山里海湖に関し、先駆的で独創的な活動を行っている。</p> <p>里山の保全活動を経営的手法により、地元住民への収益還元などを行うとともに、県内外の交流人口を増やすことや森のお仕事体験などの先駆的な活動により、更なる発展も見込まれる。</p>  |
| <p>矢環境緑化実行委員会 (代表 宮本 敬一)</p> | <p>大野市</p> | <p>桜の植樹から始められた整備で、その後カタクリの群生地を発見し、現在では、約3ヘクタールを矢ばなの里として整備した。</p> <p>毎年3月20日から開催される「かたくりまつり」は県外から観光客が多数訪れるようになった。矢ばなの里のカタクリは、山の斜面に自生し群生しているため、この群生地を整備することは、里山の保全・整備に繋がっている。</p> <p>令和4年度からは、矢ばなの里を蝶の生息地としたいとアサギマダラが好むフジバカマの植栽を始めた。今後は、「矢」という地名を強みに地区全体を盛り上げようとしている。地元住民の総意により整備を行い、里山を保全しながら、観光資源としたことで、地域で一体となり、今後とも継続した保全活動が見込まれる。</p>  |
| <p>一般社団法人 剣岳文化共栄会 (代表理事 城戸 更彌)</p> | <p>あわら市</p> | <p>里山整備を中心に様々な活動を長年にわたって行っている。</p> <p>地元の小学校が実施する登山体験などへの支援を通じ、里山の保全や環境教育にも取り組んでいる。</p> <p>近年は、里山サクラ満開事業での植樹活動や、令和4年度からは、よみがえる清流プロジェクトにてイワナやヤマメの稚魚を放流するなど、保全活動にも力を入れている。また、立木の伐採やチェーンソーアートの見学会も実施。いずれも、地元の小学生も巻き込んだ活動で、環境教育をしながら継続的に自然保護や自然再生に取り組んでいる。</p> <p>地元で行われる祭事にも中心となって活動し、地域振興にも尽力している。</p>  |